

シンポジウム『古民家の明るい未来を展望する』

佐賀県内には、大都市に比べ茅葺住宅や木造古民家が数多く残っています。これらの現存する古民家は、ここでの生活や生業の歴史、クレークとの共存など佐賀らしい生活景を生み出す貴重な資源ですが、茅葺住宅や古民家に住みたい、もしくは活用したいと思っても、そのままでは現代の生活に即していないことや、建物への安全性への不安、誰に相談したらよいか窓口が分からないなど多くの課題があります。

そこで、本シンポジウムでは、茅葺民家をカフェや店舗として活用する手法や建物の安全性などに関する法規制を分かりやすくまとめた「茅葺民家あんしん活用ガイドライン -こうべ茅葺トリセツ-」を作成し、農村景観や茅葺民家の保全活用の推進に取り組む神戸市住宅都市局建築指導部建築安全課の松添高次氏をお迎えし、こうべ茅葺トリセツ制作の経緯と意義、茅葺住宅の利活用の実態についてお話いただきます。また、シンポジウムの後半には、佐賀県内の建築家による古民家・茅葺住宅等の再生活用事例やリノベーション事例の紹介、NPO 法人地域文化財研究室まちのつぎてによる佐賀城下歴史的建造物悉皆調査の途中経過報告を予定しています。本シンポジウムを通して、佐賀らしい住まいの未来、特に今回は古民家の明るい未来を展望できたらと思っています。

〈基調講演〉

「こうべ茅葺のトリセツ」について

講師：

住宅都市局建築指導部建築安全課 審査指導担当課長 松添高次氏

〈パネルディスカッション〉

登壇者：・NPO 法人地域文化財研究室まちのつぎて 江島文氏

- ・一級建築士事務所 ie 工房弘祐 鈴山弘祐氏
- ・room design factory 野口龍司氏
- ・一級建築士事務所スムコト設計 満原早苗氏

モデレーター：佐賀大学理工学部都市工学科准教授 後藤隆太郎

司会：佐賀大学理工学部都市工学科准教授 宮原真美子



日時：2019年3月9日（土）14:30 開場

シンポジウム | 15:00～17:30（参加無料・どなたでもご参加いただけます）

懇親会 | 18:00～19:30（参加費 1,500円）

会場：ものづくりカフェこねくり家（☎840-0823 佐賀市柳町 4-16, 旧久富家住宅）

※佐賀市歴史民俗館の駐車場（終日無料）をご利用いただけますが、第18回 佐賀城下町ひなまつり期間中のため駐車スペースに限りがあることが予想されますので、ご注意ください

■問い合わせ/申込先： さがの住まいを考える会 r51043132@gmail.com（後藤）

参加を希望される方は、準備の都合上 2月28日までにメールにてご連絡頂けると幸いです。

荏原環境プラント「e-さが基金」の助成を受けて開催しています。